

# MALT 共同利用研究課題申請書 記入上の注意

## 申請に必要な書類, 提出先および提出期限

申請に必要な書類については、「MALT 共同利用研究募集要項」の第 4 項をご参照下さい。

提出書類はできるだけ一課題につき一つの電子メールに添付し、申込締め切りまでに下記のメールアドレスまでお送り下さい。「MALT 共同利用研究 延長申請書」については電子メールによる添付ファイルのみお送り下さい(押印/郵送は不要です)。

「MALT 共同利用研究課題申請書(新規)」については、電子ファイルの提出のほか、両面印刷したのち、必要箇所に押印(あるいは自署)の上、「共同利用研究申請書在中」と封筒に朱書きの上、下記宛先までご郵送下さい(下記申込締め切り日 当日消印有効; 直接持ち込みも可です)。

書類提出先 E-mail: [maltjimu@n.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:maltjimu@n.t.u-tokyo.ac.jp)

申請書郵送先: 113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16 タンデム加速器研究棟

東京大学 タンデム加速器研究施設 宛

申込締め切り: MALT Web site (<http://malt.n.t.u-tokyo.ac.jp/indexj.html>) に記載されています。

## 「MALT 共同利用研究課題申請書(新規)」の記入について

### 申請区分

どれか一つを選択して(□を■に置き換えてボックスを塗りつぶして)下さい。申請区分により、マシンタイム配分の優先度および採択された際に履行すべき義務が異なっています。各申請区分の詳細については、「MALT 共同利用研究募集要項」を熟読し、十分ご理解の上、選択をお願い致します。一般プロジェクト等に申請された「学位論文のための研究課題」が不採択になった場合は、自動的に学位取得コースに申請された課題として再審査されます。二つ以上の申請区分にチェックをいれる必要はありません。

### 研究代表者

研究代表者は、当該研究の研究遂行に責任を持つ者として、研究代表者となれる者の要件(応募の資格)については、募集要項をご確認下さい。学位取得コースの場合も研究代表者は教職員となります(大学院生は研究代表者になれません。当該学生の指導教員またはそれに準ずる方が研究代表者である必要があります)。

共同利用研究に係わる全ての連絡は、基本的に研究代表者宛に行います。したがって、連絡先(TEL, FAX, E-mail, 住所)を必ず記入して下さい。

研究代表者が、測定や試料の処理などで加速器や実験室などの MALT 施設を利用する場合は、「MALT 施設利用」のボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい。MALT で認定している加速器運転資格を持っている場合は、「加速器運転資格」のボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい。所属部局で、放射線業務従事者の認定を受けているか、今回申請が採択された場合、速やかに放射線業務従事者の資格を取得する予定の場合は、「放射線従事者」のボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい。

### 共同研究者

研究代表者ととも研究を行う共同研究者について、全員を記入して下さい。申請する研究課題が、修士または博士の学位取得のための研究テーマ(の一部)である場合、当該大学院生の情報をこの欄に記入し、かつ共同研究者欄の下欄に学位や指導教員についての情報を記載して下さい。学部学生は共同研究者となれませんので記入しないで下さい。

共同研究者が 6 名以上いる場合には、別紙を追加して記載して下さい。

共同利用研究運営上の細かな情報の通達を必要とされる方は、E-mail アドレスを記入して下さい(申請書に E-mail が記入されている方には、マシンタイムシフト決定のお知らせ等、MALT でのマシンタイム調整上の細かい情報が頻繁に届く可能性があります)。

各共同研究者について、測定や試料の処理などで加速器や実験室などの MALT 施設を利用する場合は、「MALT 施設利用」のボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい。MALT で認定している加速器運転資格を持っている場合は、「加速器運転資格」のボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい。所属部局で、放射線業務従事者の認定を受けているか、今申請が採択された場合、速やかに放射線業務従事者の資格を取

得する予定の場合は、「放射線従事者」のボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい。  
共同研究者に追加・変更が生じた場合は、必要情報を添えて速やかに MALT 事務局へご連絡ください。

## 利用カテゴリ

申請する研究課題の遂行に必要な利用カテゴリ全てのボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい。

AMS のルーティン測定を利用する場合は、測定希望サンプル(未知試料)の数および 1 個の平均測定時間を記入して下さい。スタンダードおよびマシンバック用ブランクの数は含みません。ただし、ケミカルブランク等、研究上、利用者が独自に用意するブランクはサンプル(未知試料)として扱って下さい。またスタンダードであっても、未知試料の規格化以外の目的のためのものは、サンプル(未知試料)として扱います。

平均測定時間は、募集要項の付録(A2:「MALT-AMS 標準スペック」)をご参照の上、申請者が必要と考える一試料あたりの測定時間を記入して下さい。

PIXE, NRA については、必要なビーム発生時間を記入して下さい。

上記以外の、例えば開発要素(ビームコース整備等)を含む研究課題をご提案頂ける場合は、共同利用研究申請前に MALT にご相談下さい。

## \* 欄について

マシンタイムの配分時期について、特に指定のある方や、特記すべき事項がある方は、この欄に具体的にその内容を記入して下さい。

MALT の化学処理施設を利用予定の方、あるいは AMS ユーザーで試料のプレスをする方は、「4 階化学実験室の利用」にチェックを入れ、利用希望内容(プレス器、大型超音波洗浄装置、ドラフト、 $^{14}\text{C}$  精製ライン、等)をこの欄に分かる範囲で記入して下さい。4 階実験室ではカソードディスクの洗浄だけを行う予定のユーザーは、記入の必要はありません。

## 共同利用に伴う安全と責任に関する確認書

この確認書は、申請された共同利用研究課題を採択するための前提事項です。内容を熟読の上、研究代表者が押印(あるいは自署)して下さい。また研究代表者および申請研究課題を主体となって行う共同研究者について、万が一の事態が発生した場合に、こちらから連絡できる緊急時の連絡先を、できるだけ複数記入して下さい。

## 放射線管理区域における放射線安全に関する確認書

この確認書は、申請された共同利用研究課題を採択するための前提事項です。内容を熟読の上、研究代表者が押印(あるいは自署)して下さい。[タンデム加速器研究施設の放射線障害予防規程を事前にご確認ください。](#)

## 研究目的

申請しようとしている研究課題の学術的背景・研究の目的について記載して下さい。また申請の経緯、採択された場合の研究期間内(原則一年間)に何をどこまで明らかにして、どのように論文にまとめるのかについて、わかりやすく記述して下さい。

## 研究計画

上記の研究目的を達成するための具体的な研究計画について記述して下さい。サンプリングや材料準備、試料処理、MALT の利用計画、MALT 以外の研究施設の利用等について、わかりやすく記述して下さい。

## マシンタイム申請の妥当性・必要性・MALT 利用の位置付け

マシンタイム要求の妥当性・必要性・積算根拠について記述して下さい。特に長時間、あるいは多数の試料測定を予定している場合には、そのような測定の必要性について必ず記入して下さい。また、研究プロジェクトの全体に対して、MALT の利用が果たす役割・位置づけについてわかりやすく記述して下さい。

各項目を記述する際、枠の境界を若干上下に動かしても構いませんが、「研究目的」以降の部分が全体として 2 ページを超えないようにして下さい。必要に応じて関連する文献を引用し、引用文献のリストは最後の備考欄に載せて下さい。また、説明に図表を利用しても構いません。

申請書に記述された内容をもとに、「MALT 共同利用研究募集要項」の第 6 項に記載された方法および基準をもって厳正に審査を行い、当該研究課題の採択の可否を決定します。

## **「MALT 共同利用研究 延長申請書」の記入について**

研究期間の延長を申請する課題について、課題番号、採択年度(年度の記入のほか、春季あるいは秋季のボックスを塗りつぶして(□を■に置き換えて)下さい)を記入して下さい。今申請が何回目の延長であるかを記入して下さい。ひとつの課題につき、可能な延長申請の回数は2回までです(合計2年間の研究期間)。これ以上の延長が必要になったときは、MALT にご相談下さい。研究代表者および利用希望については、新規申請の場合の記入要領に準じて記載して下さい。

延長を必要とする理由の記述欄には、当初の研究目的に対する現時点までの研究の進捗状況を記した上で、延長申請に至った経緯および申請書に記載のマシントimeを要求する根拠をわかりやすく記述して下さい。